

大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
第62回 神宮式年遷宮



平成25年(2013)
御鎮座950年式年大祭

平成25年(2013)
皇紀2673年

奉祝 御鎮座950年式年
平成25年 新春号 【第95号】
<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

主な目次

年頭所感	2頁
新春初詣	3頁
御鎮座950年奉祝 記念事業	4頁
早春の行事	6頁
杜の話題	8頁
初宮詣芳名・どんぐり通信	10頁
正月社頭風景	12頁



大宮八幡社叢を
(都指定天然記念物)

犬空より望む

神門より社殿を拜む

当宮御鎮座九五〇年式年の

平成二十五年癸巳歳の新春に当たり

謹んでご皇室を中心とする国家の隆昌と

氏子・崇敬者の皆様のご清福を熟禱申し上げます

宮司 鎌田紀彦

今年の元旦は、境内に響き亘る初太鼓に続き、第六十二回神宮式年遷宮と当宮御鎮座九五〇年式年大祭の新春を寿ぐ神能「翁」が朗々と舞い納められ、新年の幕開きとなります。

折りしも、天照大御神様に国譲りをされた大國主命をお祀りする出雲大社も六十年振りの大遷宮。そうして伊勢神宮も第六十二回目の式年遷宮の行われるこの年に当宮が御鎮座九五〇年の式年大祭を齎行させて頂きまことは、洵に意義深く、八幡大神様の宏大無辺なご神威に感謝するとともに、不思議な巡り合わせのご神縁を感じさせて頂いているところでございます。

この意義ある式年の佳節に当たり、昨春、大宮八幡宮奉賛会を結成して頂き、私共の遠い父祖の代よりその時々氏の皆様のご神恩に感謝しつつ一つ心に赤誠の真心を尽くして、鎮守の杜に相応しくご社頭を整備して、今に残して下さっている様に、この度も御鎮座九〇〇年(昭38)以来の境内整備の集大成としてバリアフリー化を中心とした記念事業を実施して、氏神信仰に受継がれて来た尊い伝統



を次世代へ継承し

て行こうとの趣旨のもとに企画されております。

経済不況下にも拘りませず、各氏

子地区の実行委員の皆様のご理解あ

る献身的なご尽力に依り、ご浄財の勸募活動を展開して頂いていることは洵に有り難く存じております。

式年大祭を春のわかば祭りに併せて齎行させて頂くに当たり、記念事業の前倒しとして昨年夏の閑散

期に清涼殿内装改修工事を行わせて頂き、お蔭様で階段のバリアフリー整備としてクネット手摺り設置を始め、一階ロビー階段のカーペット張り替え及び「亀の間」の改修工事が麗しく竣工し、九月一日見事にリニューアルオープンすることが出来ました。新装なった清涼殿をご利用の皆様にご喜んで頂いているものと思っております。

神宮の御事については、いよいよ今秋に二十一年一度の神宮式年遷宮が行われます。

この御遷宮は持統天皇四年(六九〇)に始められ、戦国時代に一二〇年間に亘って行われていたが、凡そ一、三〇〇年間に亘って行われています。今回は第六十二回目となり、着々と内・外宮の御社殿の造り替えを始め諸事業が順調に進捗しております。又、八月には全国各地より一日神領民として「お白石持ち行事」が実施され、御敷地内への参入が許されます。

式年遷宮は御社殿のみならず、神々の御装束・御神宝類がすべて新調されます。いかにも生きた正倉院御物と云われ、日本古来の伝統文化技術やその精神が次世代へと継承されて行きます。

これらは新しく造り替え、お移り(遷宮)頂くことによつて神々の霊力(ご神威)が神代乍らに新しい霊力として清新に甦がえられ、再生されるのです。

この新しい生き活きとしたご神威、謂ゆる新しいエネルギー・生命力を私どもも戴き甦り、再生

したいとの願いから伊勢参宮も行われるのです。

参宮が出来なくても、この好機にご神縁深き年のご神威灼な伊勢の大神様の「神宮大麻」及御鎮座九五〇年式年祭を迎える「大宮八幡宮大麻」(神札)をご家庭の神棚にお祀りして頂くことによつて、神宮や八幡大神様の目に見えぬ再生と甦りの生命力溢れる神々のご加護と祝福をお受け頂くことが出来るのです。

家庭の崩壊が叫ばれて久しいですが、現にお幸せなご家庭の方々のお話を伺いますと、必ず家居に神棚と佛壇がお祀りされています。毎日、目に見えぬご存在に「御蔭様で」と手を合わせ感謝する家庭生活をしていますと、自ずと家の中に秩序が出来上がり、そこに心安らぐ明るく楽しい居心地の良い家庭環境が生まれます。

神宮や氏神様を始めとする神々のお恵みやご祖先の恩に感謝し、心から手を合わせ、生かされていることを実感し、その御心に沿う努力をしていくことが大切なのです。

家を齊え治めることは、家庭のまつりをしっかりと行うことでもあり、この様な健全なご家庭には、神々のご加護と祝福が必ず有るものと信じております。家の秩序が保たれ、家族の皆様が平安に過ごせますと、家庭が円満になり、家族間の愛情や絆が深まります。夫婦愛、兄弟姉妹愛はやがて隣人愛や郷土愛も芽生えて来て、人と人との絆も深まり、住みよい町づくり、地域づくり、そうして力強い国づくりへと繋がるのではないのでしょうか。

今年の新春も、御鎮座九五〇年式年大祭のご神威輝く当宮のご社頭にご参詣頂き、神々とのご神縁を更に更に深く結んで頂き、その絆をより強く強くして、幸せ多き年でありませう祈念致します、年頭の挨拶と致します。

御鎮座九五〇年記念事業

ご奉賛のお願い

記念事業の主な概要

◇第一期事業

- 一、御社殿向拝バリアフリー（北側）整備
スロープ設置工事
- 一、御社殿向拝階段（南・北）屋根掛け工事
- 一、御社殿向拝階段手摺り（南・北）増設
バリアフリー整備
- 一、登り高欄（檜）及びクネット手摺り設置工事
- 一、表参道石階段手摺り（二之鳥居・三之鳥居）
バリアフリー整備

- 一、高欄風手摺り（アルミ）及びクネット手摺り設置工事
- 一、御社殿内拝階御帳・外拝殿及び神門門帳の新調
- 一、表参道大幟ポール（二対）設置工事
- 一、南参道鳥居扁額の補修工事
- 一、弓道場振武殿改修工事
- 一、結婚式場清涼殿階段バリアフリー整備
階段クネット手摺り設置工事
- 一、結婚式場清涼殿「亀の間」改修工事
- 一、結婚式場清涼殿ロビー・階段
カーペット張替工事
- 一、祭典費・記念品費・事務費等諸経費
合計九、九〇〇万円

◇第二期事業

- 一、結婚式場清涼殿バリアフリー整備
エレベーター設置工事
 - 一、トイレ改修等バリアフリー付帯工事
合計五、四〇〇万円
- 総事業費 一億五三〇〇万円

※青文字の事業は、既に工事完了した事業です。
大宮八幡宮奉賛会

御鎮座九五〇年奉祝神事日程表

◇御鎮座九五〇年 式年大祭

- 4月29日（日）午前10時 昭和祭
- 5月1日（水）午前10時 朔日祭並躰躰育木祭
- 3日（金）午前10時 式年大祭第一日儀
午後1時 式年大祭子孫の祭種見行列
- 4日（土）午前10時 式年大祭第二日儀（尚武祭）
- 5日（日）午前10時 式年大祭当日祭（藍使参向）
- 6日（月）午後2時 式年大祭植樹祭
- 26日（日）蠶光祭並小笠原流流鏑馬神事

◇御鎮座九五〇年 式年奉祝大祭

- 9月13日（金）午前10時 神輿神霊入れ神事
午前11時 若宮八幡神社並白幡宮例祭
- 14日（土）午後6時 宵宮祭
- 15日（日）午前10時 式年奉祝大祭例祭（藍使参向）
氏子奉幣祭
- 15日（日）午後6時 第28回神輿合高宮入り
- 16日（月）午前10時 神輿神霊還し神事
- 21日（土）午後6時 第13回十五夜の神遊び

ご奉賛金の勧募

一口（壹万円）以上お願ひ致します。
尚、五口以上ご奉賛の方々には記念の石碑（お名前を刻し永久に保存させて頂きます。また、一口以上ご奉賛の方々には芳名板（板札）にて受付後、随時お名前を掲出させて頂きます。



御鎮座九五〇年奉祝

小笠原流流鏑馬神事

御鎮座九五〇年の奉祝行事として小笠原流流鏑馬神事が、本年5月26日（日）に執り行われます。

流鏑馬とは馬を馳せ、馬上より鎗矢を放ち、三つの的に当てる武技であり、古くは武者の鍛錬を目的に盛んに行われておりましたが、室町時代に一旦中断し、徳川吉宗により再興され、以来小笠原流と細川流（旧武田流）として現在に継承。いまなお古式に則り、神前での神事として各地で執り行われています。

この馬上より矢を放つことは、古くから騎射と云い、当宮の正月・秋の大祭での小笠原流の弓道神事の際に、木馬による「騎射の型」を披露して頂いております。

此度の当宮での流鏑馬では、表参道の中央に砂を盛り、これが馬場（射場）として用いられます。当日は、先ず社殿で奉告祭を斎行。射手や奉行役等が揃って、神前での神事を執り行い、馬場へと参進。社殿より鳥居の方へ向けて、流鏑馬が行われます。



（写真撮影・森山雅智）

御鎮座九五〇年奉祝

記念フォトコンテスト開催

都心の中にありながら広大な境内を有し、周囲を豊かな自然に囲まれた当宮は、四季折々に様々な花が咲き誇り木々が生い茂り、参拝者の目を楽ませております。また、春秋の祭りを始め全国でも珍しい行事が二年を通して行われ、活気に溢れています。

そんな撮りどころ満載の当宮の自然や行事風景を、プロ・アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って頂き、その作品を公募し、大祭時等に展示させて頂くべく、御鎮座九五〇年の奉祝行事の一環としてフォトコンテストを開催致します。

写真家の先生に審査して頂き、優秀作品には賞品が授与されます。

詳細は、社頭のパンフレット・ポスター・ホームページ等で告知させて頂きます。所定の応募用紙に必要事項をご記入頂き、作品と共に応募下さい。

どうぞ皆様奮ってご参加頂きませう。ご案内申し上げます。



大宮八幡宮御鎮座九五〇年奉賛者芳名簿

平成24年1月1日〜平成24年12月8日(※2万円以上のみ掲出 敬称略 順不同)

大宮地区		小松茂登子 高橋政雄	井上恵 原昭	方南南地区		方南北地区		和田西地区	
金壹百萬円 五本木徳治	高橋良男 根岸治	大野千代 廣瀬一郎	金貳百萬円 大塚工務店	金壹百萬円 岩崎太良	金貳百萬円 森川純一	金貳百萬円 立花炭彩義会	金貳百萬円 教養国富敬二	金参拾萬円 大場善延	金参拾萬円 振会西岡忠夫
つり堀武蔵野園 青木龍雄	荒井昭一 高橋伸行	金貳拾萬円 大野善求	金伍拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 岩崎美恵子	金参拾萬円 森川純一	振会橋本卓爾	金壹拾萬円 浅野秀昭	金壹拾萬円 須藤玲子	清野裕二 水野英行
有間睦子	高橋ヨシ	大野八重子 大野善求	金貳拾萬円 大塚工務店	金伍拾萬円 高木快雄	金参拾萬円 立花炭彩義会	手塚晴久	金参萬円 須藤佳子	須藤佳子	後藤雅行
金参拾萬円 山田隆裕	五本木文子 五本木長雄	大野瑠里子 安江仗	金貳拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 山口明英	金参拾萬円 入江万峯	八田紀美子	金参萬円 原口里子	原口里子	水野英行
金貳拾萬円 末柄哲男	根岸喜一郎 大野瑠里子	小松靖 根岸榮次	金貳拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 小宮山幸治	金壹拾萬円 井川ユキ子	関根重文	金参萬円 阿多壽次	阿多壽次	後藤雅行
請井材木店 請井勝雄	五本木和幸 五本木秀子	柴田信介 大野静江	金伍拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 鎌田紀彦	金壹拾萬円 茶道裏千家	関根重文	金参萬円 阿多壽次	阿多壽次	後藤雅行
根岸辰行	向井恵二 大野貴義	諏訪照子 柴田信介	金伍拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 梅田清	金壹拾萬円 茶道裏千家	八田紀美子	金参萬円 阿多壽次	阿多壽次	後藤雅行
金壹拾萬円 根岸政明	大野貴義 太宮了良礼神齋	大野静江 佐藤正三	金伍拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 梅田清	金壹拾萬円 茶道裏千家	八田紀美子	金参萬円 阿多壽次	阿多壽次	後藤雅行
金伍萬円 根岸賢治	五本木勝 五本木美保子	進士幸 大野耕増	金伍拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 梅田清	金壹拾萬円 茶道裏千家	八田紀美子	金参萬円 阿多壽次	阿多壽次	後藤雅行
滝口安司	金参萬円 久保田忠義	五本木文江 仲美代子	金伍拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 梅田清	金壹拾萬円 茶道裏千家	八田紀美子	金参萬円 阿多壽次	阿多壽次	後藤雅行
(学)高千穂學園 豊長藤井耐	徳田誠 五本木文江	高橋暁 鈴木一成	金伍拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 梅田清	金壹拾萬円 茶道裏千家	八田紀美子	金参萬円 阿多壽次	阿多壽次	後藤雅行
五本木マキ子	栗村仁 今井正雄	高橋暁 鈴木一成	金伍拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 梅田清	金壹拾萬円 茶道裏千家	八田紀美子	金参萬円 阿多壽次	阿多壽次	後藤雅行
大野弘雅	今井正雄 五本木美智子	高橋暁 鈴木一成	金伍拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 梅田清	金壹拾萬円 茶道裏千家	八田紀美子	金参萬円 阿多壽次	阿多壽次	後藤雅行
林伸一	五本木美智子 百瀬高道	高橋暁 鈴木一成	金伍拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 梅田清	金壹拾萬円 茶道裏千家	八田紀美子	金参萬円 阿多壽次	阿多壽次	後藤雅行
立石武夫	山田正行 鈴木敏正	高橋暁 鈴木一成	金伍拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 梅田清	金壹拾萬円 茶道裏千家	八田紀美子	金参萬円 阿多壽次	阿多壽次	後藤雅行
大和田昌史	小島敏成 鈴木敏正	高橋暁 鈴木一成	金伍拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 梅田清	金壹拾萬円 茶道裏千家	八田紀美子	金参萬円 阿多壽次	阿多壽次	後藤雅行
毛塚一郎	鈴木敏成 鈴木敏正	高橋暁 鈴木一成	金伍拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 梅田清	金壹拾萬円 茶道裏千家	八田紀美子	金参萬円 阿多壽次	阿多壽次	後藤雅行
小松春樹	鈴木敏成 鈴木敏正	高橋暁 鈴木一成	金伍拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 梅田清	金壹拾萬円 茶道裏千家	八田紀美子	金参萬円 阿多壽次	阿多壽次	後藤雅行
小松克太郎	鈴木敏成 鈴木敏正	高橋暁 鈴木一成	金伍拾萬円 大塚工務店	金壹拾萬円 梅田清	金壹拾萬円 茶道裏千家	八田紀美子	金参萬円 阿多壽次	阿多壽次	後藤雅行



大宮八幡宮 早春の行事

古札焼納祭(どんど焼き) 齋行

小正月の伝統行事、古神矢・古神札焼納祭(どんど焼き)が1月15日午前齋行されます。15日の小正月は元日の大正月に対する日で二番正月とも言われます。この日行われる左義長、どんど焼きは小正月の火祭りの行事で、古く宮中では清涼殿の東庭で吉書を焼く左義長の儀式が行われました。

当宮では社殿にて月次祭に併せ行われる焼納奉告祭に続き、午前11時半より焼納祭を齋行。年末年始に

厄除開運大祈禱(一番祈禱)
元旦の午前零時、神能「翁」の奉納に続き、その年最初の祈願祭である「厄除開運大祈禱(一番祈禱)」が宮司奉仕により執り行われます。



この祈禱にご参加希望の方は、新春初祈禱の予約申込みを12月20日までに事前にお済ませの上、大晦日12月31日午後11時20分から40分までに神門横祈禱受付で一番祈禱参加受付票をご提示下さい。
※先着50組(定員となり次第締切)
※大晦日当日の受付は致しません

参拝者の皆様よりお納め頂いたご神札、御守り、守護矢、注連縄などが神門内特設齋場にうず高く積み上げられ、まず火鑽神事が行われ、古式に則り熾された浄火が点火されます。そして燃え盛るお焚き上げの忌火の前に神職等が大祓詞を奏上、参列の皆様を始め氏子崇敬者各位の一年の除災と招福をお祈りします。



また境内では当宮敬神婦人会(りんどう会)により『厄除ぜんざい』が振る舞われます。

新春初祈禱 企業団体祈禱も

新春に当り氏子崇敬者の皆様の新しい年のご繁栄をお祈りする新春初祈禱を連日ご奉仕させて頂きます。

又、企業・団体様の仕事始めに合わせて、更なるご発展を祈る祈願祭もご奉仕しております。ご祈願の際は代表様・従業員の皆様もお揃いでご昇殿頂きます。この新春にお揃いでご祈願を受けられまして、清々しい気持ちで一年の仕事始めとされては如何でしょうか。

新春祈禱 企業団体祈禱をご希望の方は社頭の申込書に必要事項をご記入の上ご予約をお願いします。
※ご神札には、祈禱名と代表者名を浄書させて頂きます。

どんど焼きにご協力をお願い
ご神札等をお納め頂く際に全て点検、選別させて頂き、神社関係以外のもの、燃えないもの・有毒物質の発生恐れのあるもの(プラスチック製品等)・包装紙は、その場でお持ち帰り頂いております。
◆御守り・古神矢・古神札類(他の神社のもの)及び正月飾りのみお預かり致します。
◆人形類は、別途ご社殿におきまして人形感謝祭を齋行してからお納め頂きますので、直接祈禱受付所へお申し出下さい。(※但し、ぬいぐるみはお預かり出来ません)

新春厄除け祈禱のご案内

厄年は、古来人生の節目として特に気をつけなければならぬとされている年回りです。厄除けのお祓いをお受けになり、清々しい年に致します。

平成二十五年厄年表(数え年)

男	前 厄	本 厄	後 厄
	平成2年生(24歳)	昭和64年生(25歳)	昭和63年生(26歳)
性	昭和48年生(41歳)	昭和47年生(42歳)	昭和46年生(43歳)
	昭和29年生(60歳)	昭和28年生(61歳)	昭和27年生(62歳)
女	前 厄	本 厄	後 厄
	平成8年生(18歳)	平成7年生(19歳)	平成6年生(20歳)
性	昭和57年生(32歳)	昭和56年生(33歳)	昭和55年生(34歳)
	昭和53年生(36歳)	昭和52年生(37歳)	昭和51年生(38歳)
	昭和29年生(60歳)	昭和28年生(61歳)	昭和27年生(62歳)

※本厄の前年は前厄、後年は後厄にあたります。厄年に限らず、除災招福の厄除祈願を受けることが出来ます。

初天神祭を奉仕

1月25日は初天神。この日境内社の大宮天満宮では午前10時より初天神祭を齋行。学問の神様菅原道真公に学業成就・技芸上達を祈願します。

また初天神に合わせ、ほのかな梅の香りが心癒す「梅ヶ香御守」が社頭にて授与されます。



文化財防火デー 消防演習

1月26日は文化財防火デー。この日は法隆寺金堂の壁画の焼失の教訓から文化財を守ろうと設けられた日で、当宮でも消防訓練を行っています。当宮の消防演習は大宮八幡宮自衛消防隊と杉並消防署、杉並消防団によって毎年行われているもの。午前10時ご社殿より出火を想定し通報、連絡、避難誘導、初期消火等の訓練が行われ、社殿への一斉放水が実施されます。

また演習終了後には、ご参加の地元大宮町会の皆さんや当宮職員により水消火器での初期消火訓練も行われます。



節分祭魔を祓う追儼の神事

2月3日は節分。当宮では午前10時より節分祭を斎行、追儼の儀や豆撒き神事が執り行われます。

節分は四季の変わり目立春・立夏・立秋・立冬の前日を言いますが、特に立春前日が重視され、この日だけが節分と言われるようになりました。追儼とは悪疫邪気を追い払うもので中国より渡来、最も古くは文武天皇慶雲3年(七〇六)、全国の疫病退散のため行われたとの記録があり、また延喜式によれば宮中の追儼は大晦日夜、天皇の紫宸殿



新春献燈提灯奉納のご案内

新春の期間中多くの参拝者をお迎えるに当り、皆様方のお名前を入れた献燈提灯を掲出させて頂き、ご社頭を高一層賑々しくお飾りさせて頂き度く存じおります。つきましては、左記によりご献燈を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

記

掲出期間 1月1日から2月3日まで
初穂料 一燈一〇、〇〇〇円
申込締切 12月20日(郵送は19日必着)



臨御のもと行われ、群臣が桃の弓、葦の矢、また桃杖で疫鬼を駆逐したと有ります。

これに習い当宮でも桃弓葦矢で「天地人」に潜む魔を射る追儼神事を奉仕。また社殿前にて幼稚園児が鬼に扮する豆撒き神事も執り行われます。

大宮稲荷神社初午祭奉仕

今年の2月初午は2月9日ですが、和銅4年(七二一)の2月初午の日に稲荷大神が京都・伏見の峰に天下られたとの縁起から全国の稲荷神社ではこの日、初午祭が執り行われます。当宮でも境内神社の大宮稲荷神



社で午後1時より初午祭を斎行。二百数十の初午の朱幟りが立ち並ぶ中、五穀豊穡また氏子崇敬者各位の案内安全商売繁盛が祈られます。

また兼務神社の堀内熊野神社・成宗白山神社・尾崎熊野神社の各稲荷社、境外社の谷中稲荷神社でもそれぞれ初午祭が奉仕されます。



紀元祭並榎原神宮遙拝

2月11日は建国記念の日。元々は紀元節と言い、初代神武天皇が大

初午のぼり奉納募集

お稲荷さまは、商売繁盛・家内安全のご利益のある神様です。本年も、左記により商売繁盛・家内安全等を祈願の「朱色のぼり」を大宮稲荷神社のご社頭にご奉納賜りますようお願い致します。ご案内致しお願い申し上げます。

一 朱色のぼり一口三、〇〇〇円
出来れば対二口以上でお願い致しますのぼりには、御氏名(又は会社名)を入れてさせて頂きます。



和の榎原宮に即位された日。この日、全国津々浦々では奉祝の諸行事が催されますが、当宮でも午前10時より紀元祭並びに榎原神宮遙拝を斎行。社殿での祭典終了後、清涼殿の遙拝所にて榎原神宮を遙拝、紀元節の歌を奉唱して、神武肇国以来万世系の天皇にしるしめされる皇紀二六七三年の我が国の初めを寿ぎます。



毎月お朔日参りに月参り御幣守護

当宮では古くより朔日(二日)、十五日に月参りをされる参拝者の方々が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受け頂こうと、毎月の朔日祭に併せてお朔日参り「月参り御幣守護」の祈禱を奉仕しております。

月毎にお申し込みの場合初穂料三、〇〇〇円、年間一括でお申し込みの際は初穂料三〇、〇〇〇円にて斎行させて頂いております。



杜の話題

秋の大宮八幡祭り斎行

当宮秋の大祭・大宮八幡祭り
 が9月14日より17日の間執り行われ、9月16日午前には例祭・氏子奉幣祭、また同日夕刻には神輿合同宮入りが行われました。



例祭・氏子奉幣祭は16日午前10時より斎行。献幣使として参向頂いた平岩東京都神社庁長(代々木八幡宮宮司)が神前に神社本庁よりの幣帛を奉り、また氏子奉幣使の瀬沼責任役員が氏子よりの浄財の氏子幣をお供えし、大神様の御神恩に感謝致しました。

また午後6時より第27回神輿合同宮入りが行われ、氏子6地区より9基の神輿が威勢の良い掛け声と共に次々と神門内大前に参入、城西随一の神輿振りにより還御されました。また宵宮の15日にはご宗家始め小笠原一門による三三九手挟式のほか園児民謡踊りや方南エイサー踊り、杉並太鼓演奏。16日は佼成雅楽会による舞楽奉納、裏千家野点茶会などもあつて期間中多くの参拝者で境内は賑わいました。

第12回十五夜の神遊び

第12回を迎えた「十五夜の神遊び」が十五夜の9月30日夜、執り行われました。

この日、午後6時より社殿にて十五夜の神遊び開催奉告祭を斎行、続いて開催予定の第12回月の音舞台(コンサート)は、折から首都圏を直撃した台風17号のため、野外の神楽殿での演奏を中止し、新世代クラシックギターデュオとして注目を集めている「いちむじん」の奉納演奏が、清涼殿の月見の宴で行われました。



「いちむじん」とは、ギタリスト宇高靖人氏・山下俊輔氏の出身地である高知県の古い言葉で、「生懸命」の意味。最近の楽曲、情熱大陸のOP曲や馴染み深い「浜千鳥」や「七つの子」、「故郷」などが演奏されました。その繊細で感傷的な澄んだ音色は出席者を魅了しました。

りんどう会研修旅行 日光へ

11月7日、りんどう会の懇親旅行が行われ、鎌田会長をはじめ27名が参加しました。

6回目を数える今回は、世界遺産・日光二社一寺巡り。当宮を出発した

一行は、先ず徳川家康公をお祀りする「日光東照宮」を参拝。午後には湯葉懐石料理を堪能後、「輪王寺」にて徳川家光公の廟所「大猷院」を拝観。次いで「日光



二荒山神社」を参拝しました。折しも日光は紅葉の盛り。色付いた景色の中での参拝は格別なものでした。

方南小学生の職場体験学習

11月22日、方南小学校の生徒4人が当宮で職場体験学習を行いました。同校6年生の男女それぞれ2名の生徒さんで白衣白袴に着替え、神職より参拝の作法や神社の由緒などの説明を受け、境内清掃奉仕などを行いました。



区内中学の職場体験学習は毎年受け入れていますが、小学校の受入れは当宮では始めてです。

松緑神道大和山支部三十年周年参拝

松緑神道大和山杉並支部(渡辺咲子支部長)では、このほど支部結成三十年を迎えられ、去る10月14日午後には会員の皆様30余名が当宮に昇殿参拝、八幡大木様に三十年の奉告をされました。

戌の日詣りは

子育八幡さまの当宮で
安産祈願のご祈禱を!

※戌の日以外でも随時受付しております

ご祈願の方には安産腹帯(天宮八幡長帯)と兵に(その緒で結ばれたお母様とお子様健康にご出産の時を迎えられますようにとの願いが込められた「母子緒守」と「安産祈願馬」を特別に授与しております。



戌の日早見表

(平成25年1月~5月)

5月	4月	3月	2月	1月
8日(火)	2日(火)	9日(土)	1日(金)	8日(火)
20日(日)	14日(日)	21日(木)	13日(水)	20日(日)
	26日(金)		25日(月)	

は大安の日です

杉の樹カレッジ

杉の樹カレッジとは、シアタの生涯学習と社会参加活動をより活発化するために設立されたNPO法人で、去る10月24日に「杉並を知る」をテーマに受講生68名を迎えて開講

されました。
午前10時に先ず正式参拝を行い、引き続き宮司により「古事記」についての講話。次いで職員の雅楽演奏・神楽舞を鑑賞致しました。



収穫感謝し新嘗祭

11月23日勤労感謝の日に、宮中では国の重儀として天皇陛下が御親祭されるのに神習い、全国の神社で新嘗祭が行われます。当宮でも午前9時より宮司以下祭員により、新穀に白酒を始め海川山野の幸をご神前にお供えして新嘗祭



第34回杉並大宮菊花展

秋の恒例行事第34回杉並大宮菊花展が10月20日より11月25日まで、杉並大宮菊の会(会長五本木徳治役員)主催・杉並区後援により開催されました。

区内外の菊愛好家の会員らにより約250鉢の出品を頂き、11月の七五三のシーズンには多くの家族連れが、色取り取りの菊花の前で記念の写真撮影を行っておりました。去る12月13日午後菊花展表彰式が賑々しく執り行われました。

が斎行されました。
この日、外拝殿には大宮幼稚園の神饌田で園児らに丹精込めて育てられ、たわわに実った初穂が荒稲の懸税として、また兵庫や新潟の篤農家より寄せられた新穀や崇敬者よりの野菜果物、菓子や飲料などが庭積み神饌として大前に奉陳され、秋の収穫を感謝し皇室国家の安泰が祈念されました。

神宮大麻頒布式並びに氏神社神符等奉戴式

平成25年の新春を迎えるにあたり



第34回杉並大宮菊花展受賞者

- 宮司賞 五本木徳治氏(彩胡優美)
- 杉並区長賞 本橋利夫氏(鎗国の雪)
- 会長賞 榑田晃氏(わき金山)
- 大宮八幡宮責任役員賞 倉本栄子氏(国華金山)
- 京王電鉄賞 井上良介氏(精興右近)
- サミット賞 中村幸輔氏(国華木上)
- みどりの会会長賞 倉本晴雄氏(清見の宝)
- 審査委員長賞 稲村美氏(国華越山)
- 藤枝賞 渡辺忠雄氏(村山の柳)
- 末柄賞 青木弘次氏(国華越山)
- 八幡前通商栄会賞 佐久間亨氏(彩胡の矢車)
- 金賞 五本木秀子氏(彩胡朝)
- 新人賞 大和出谷氏(神代の櫻)
- 三上義昭氏(国華櫻島)

り、氏子・崇敬者や全国の立正佼成会会員の方々にお頒かちする神宮大麻頒布並びに氏神社神符等奉戴式が11月6日に斎行されました。

祭典では、御神前に於いて各氏神大麻・大宮三宝荒神などの神札類に御神霊をお遷しし、また神宮大麻と併せて頒布始めの旨を大神様に奉告後、氏子崇敬者を代表して五本木責任役員及び各兼務社役員、立正佼成会神札頒布責任者の中山然子様にご神札が授与されました。

また、当宮では年末に各氏子地区を廻り、お札配り(大麻頒布)を行っております。15日過ぎより、神職が各ご家庭にお伺いして、神宮大麻や氏神様のお神札、三宝荒神様の御神札等をお頒かちしております。ご希望の方は、当宮社務所、

りんどう会だより

当宮敬神婦人会(りんどう会)では9月11日、秋の大祭を前に御垣内清掃奉仕を行い、10月31日には第63回全国敬神婦人大会が京都で開催され、役員らが出席し、10月末より11月始めに、七五三詣の皆様に銅板奉納の呼びかけを行いました。これは、御鎮座九五〇年奉賛活動活動として、わかば祭りに続き2回目の奉仕。又、1月15日の厄除げんさい奉仕、2月には新年会が開催されます。当会では随時会員を募集しておりますので、ご入会希望の方はお気軽に事務局(社務所)へお申し出下さい。



若しくはお近くの当宮責任役員・総代様にお尋ね下さい。
新年には各ご家庭や会社の事務所の神棚に、新しいお神札をお祀りして清々しい一年に致しますよう。

氏子青年会だより

秋の大祭を控えた9月10日、早朝より氏子青年会の皆様により、当宮表参道・方南通りの注連縄張り奉仕が行われました。



9月23日には、当宮姉妹友好神社である宮城県竹駒神社の秋季例祭に井川会長、渡辺・野口・末柄副会長、提箸事務局長ら氏青役員が参列。また、10月8日に行われた都氏青45周年記念式典には、宮司ほか役員が参加し、他神社の氏青会員らと親睦を深めました。
又氏青としては初となります年末の門松作りも、12月24日に行われ、立派な門松をご社頭に飾り付け、御鎮座九五〇年の新春を迎える準備が整えられました。

初宮詣芳名

(平成24年7月26日〜平成24年11月23日)

お子様のお健やかな成長をお祈り致します

- | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 高橋悠希 | 横村葵 | 茂木晴音 | 佐藤陽菜乃 | 森田珠莉 | 内田理晴 | 石川日向子 | 菊池夏葉 |
| 森下煌月 | 高橋永愛 | 鈴木崇介 | 内村圭吾 | 長谷川幸毅 | 吉原穂乃夏 | 前川士道 | 垣添純平 |
| 澤田幸来 | 佐藤史織 | 仲宗根主真 | 高田花 | 倉田湊 | 齋藤ねね | 豊田紗世 | 洞谷秀 |
| 志賀梓南 | 小暮駿 | 左右涼馬 | 高澤悠樹 | 柳絢心 | 田上聖夏 | 志賀一夏 | 米納汐穂 |
| 小田嶋咲 | 大島響人 | 岡向莉那 | 金子遥人 | 榎木歩 | 黒崎汐夏 | 四本愛琉 | 森井佳奈 |
| 阿部夏乃 | 嘉陽宗隆 | 谷口永真 | 中野翔太 | 岡本和哉 | 佐々木一成 | 大坪夕莉 | 飯島妃果莉 |
| 中西奏人 | 天野由梨 | 浅野陽晴 | 小林美晴 | 城田知信 | 桐山陽輝 | 落合陽 | 福島明日香 |
| 磯部心玖 | 和田拓真 | 本名由依 | 岩崎蓮 | 柏木絢人 | 花田和樹 | 土屋輝周 | 石川ちひろ |
| 赤石絃 | 本松涼乃 | 山田楓斗 | 岩佐翔大 | 外島英翔 | 西岡諒 | 佐々木華柚 | 中村帆七 |
| 小池伯空 | 安藤光輝 | 甲斐悠仁 | 鹿野夏花 | 羽入田結斗 | 清水柚花 | 竹尾理央 | 村山樹咲 |
| 奥村彩衣 | 守谷大輝 | 前田琉志 | 原葵 | 後燈明寧々 | 牧野郁哉 | 小池美涼 | 黒田慧太 |
| 廣瀬夏帆 | 五十嵐悠一 | 内藤雅人 | 小林優斗 | 熊谷汐莉 | 高島旺太 | 原科義市 | 須藤祐太 |
| 大前遼哉 | 浅倉湊太 | 小野原篤人 | 岩永怜士 | 渡部愛彩 | 熊谷翼 | 池田優莉花 | 榎本陽次郎 |
| 石井庵貴 | 河合多聞 | 川合翼 | 浦上佑人 | 八重樫楓 | 池田優莉花 | 榎本陽次郎 | 邊渡詩子 |
| 大塚陽太 | 山本玲奈 | 奥田穂乃香 | 神戸暖 | 梅田咲樹 | 戸澤咲 | 両田咲月 | 一柳勝朗 |
| 井上一香 | 奥村太陽 | 澤希美 | 奥村栄祐 | 中村奏介 | 殿谷有美 | 川里翔馬 | 伊藤りな |
| 兼近遙真 | 本橋由彩佳 | 宇田希実 | 中尾碧 | 青木たすく | 中谷灯 | 伊藤匠都 | 伊藤りな |
| 川島駿輝 | 植村峻也 | 中嶋彩日 | 中川舜 | 福田雅仁 | 吉岡優 | 中野和花 | 木崎裕務 |
| 初山愛琉 | 山本弦 | 松永千夏 | 山崎怜南 | 馬場結椰 | 南碧斗 | 武田龍一 | 松本蔵之介 |
| 杉原理仁 | 田中美向 | 小俣進次郎 | 竹内寛 | 唐野珠唯 | 島津茉莉沙 | 佐々木晴姫 | 鶴田夏美 |
| 黒柳美緒菜 | 三輪龍希 | 小木野衣那 | 鈴木めりる | 町田夏樹 | 西町夏怜 | 毛利拓海 | 小峰大輝 |
| 左近充麻柳 | 榎本朱音 | 窪寺真葡美 | 飯棲愛 | 荒木晨 | 豊島聖也 | 佐藤結斗 | 畝本旺典 |
| 松崎菜希 | 西尾優道 | 小暮匡毅 | 吉田雅貴 | 覺正寛起 | 新井裕太 | 土屋真歩 | 武井菜々子 |
| 八巻葵 | 鈴木咲花 | 奥村湊 | 富澤琴梨 | 松永千怜 | 河口蒼空 | 木地聖 | 塚大夏帆 |
| 米原奈南 | 下室結衣 | 石田帆那 | 岩瀬葵 | 酒井瑞佳 | 高見祈織 | 尾崎琳太郎 | 中島実那 |
| 安達鉄之介 | 芥徳真拓 | 川村未来 | 近藤琉太郎 | 河野花香 | 福井律 | 後久龍志 | 神谷航平 |
| 光田佑加 | 棚橋佑香 | 嶋野篤仁 | 杉山愛 | 清水奏杜 | 高橋梨大 | 高橋瑠夏 | 金井はな |
| 橋本千尋 | 内野友乃 | 小林弘汰 | 五十嵐美優 | 吉田浩気 | 洞山翔吾 | 中村ここね | 後藤和 |
| 錦本諒太郎 | 山口結 | 武田一希 | 平林琉奏 | 齋藤陽 | 長谷部煌 | 武石悠雅 | 林柚良 |
| 赤坂聡寛 | 松田奏歩 | 石川佳奈 | 金丸朔久 | 関根仁那 | 島田大輝 | 西浦優吾 | 中村陽太 |
| | | | | 湊和晴 | 宮野紘 | 山本華穂 | 中村朋也 |
| | | | | 吉田遙仁 | 福田和花 | 財部樹 | 三浦辰樹 |
| | | | | 土田悠貴 | 岩本龍翔 | 中村安里 | 石原梨杏 |

どんぐり通信

年少組お店屋さんごっこ

11月17日に作品展が行われました。幼稚園で初めてはさみやのりなどを使う子もいる中、4月からの積み重ねもあり、だんだんと上手になってどれもかわいい作品が出来上がりました。そこで作品展後、この経験があつたからこそと思い、『お店屋さんごっこ』をすることにしました。

「何屋さんがいいかな？」と子供たちには問いかけ、品物をどのようにして作るのかも全て話し合ひで決めました。「紙に絵をかくー」「折り紙で作るー」という意見が出てきましたが、4月の当初には考えられなかった風景でした。「他に必要なのはあるかな？」と問いかけると「お財布とお金！」その他にも「ポイントカード！貯まるといいものももらえるんだよ！」と、びっくりする意見もありました。こうして全ての子供たちの意見を取り入れてのお店屋さんを開くことにしました。



パンは折り紙で作り、ホットドッグ・クロワッサン・チョコココロネの中から自分の好きな物を折って作りました。中でもホットドッグが一番

人気でした。ケーキはぬりえ形式でクレパスや画用紙を切ったり、貼ったりしてトッピング！世界に一つだけのパンとケーキを作ることができ、本当に食べたくなるほどの出来栄でした。

『お店屋さんごっこ』当日の朝、一人の男の子が幼稚園に来てすぐに「今日はいらつしゃいませするー♪楽しんでな！」とニコニコ笑顔で話す姿を見て、私もますます楽しみになって嬉しい気持ちになりました。

そしていよいよお店屋さんのおオープンです！「いらつしゃいませー」「またのお越しをお待ちします」「砂糖いっぱいおいしいよ」と上手に売ることが出来、全てのパンとケーキはあつという間に売り切れ。さらに、パンとケーキを一つずつ買って、二つのポイントが貯まるとご褒美が！子供たちは長蛇の列となつて、かわいいシールのプレゼントを受けました。

子供たちの喜ぶ笑顔を見ると、次はどんなことをしようかと私自身も更に楽しくなり、今後も園児の成長に合わせた楽しさをより良い方向に展開していきたいなと思えました。

教諭 山本ゆかり

結婚式挙式者芳名(敬称略)

平成24年9月1日〜平成24年11月30日

- | | | |
|----------|---------|------|
| 岩崎隆之・里実 | ツミダシメシメ | デマリド |
| 宮村宏明・久美子 | | 珠代 |
| 米崎達也・公美 | 竹内元樹・愛 | |
| 塩崎遵・真実 | | |

- 簡麻帆那 清水美希 三橋香濃 永澤豪
- 大高すみれ 大杉通也 飯島八重 市川大馳
- 本橋のどか 大塚公瑛 橋本英大 初川みづき
- 小松あいの 長谷川黎來 徳光鉄平 小川英太郎
- 水澤輝人 小谷世奈 君嶋勇之 慎 石田龍成
- 阿久根佑真 内山夏希 富澤悠里江 柴田壮介
- 衛藤颯真 小園正拓 木村美晴 天宮千尋
- 福島なつみ 大山寧音 中丸愛五 柘山仁美
- 池田ひなた 小椋陽生 北沢幸久 登坂未里衣
- 藤山菜月音 辻莉杏 北沢彩 千徳光加
- 吉岡亮亮 廣田結輔 益子将弘 横山龍乃介
- 川野純大 福島知樹 荒井綾太 関根一馬
- 柳川ひなた 河合菜未 久保田夏 遠藤彩心
- 芦澤琉花 福重隆人 小山西咲希 上原咲
- 宮本来実 洲鎌彩花 伊藤瑠海 中村匠吾
- 財津陽太郎 井上りお 新井花菜 小野翔太郎
- 伴優一郎 橋本健史 大和田侑来 小野菜太郎
- 山根知夏 橋本悠史 町田恵 山本稜
- 森野莉咲 大谷悠真 那須陸人 並河桃花
- 平部葉月 中里綾音 高橋怜史 田美咲
- 古谷美空 川名伶 志水快音 粕谷風
- 針原理紗 小野彩夏 櫻井創介 芝沼香穂
- 宮口拓土 矢島颯大 塩屋奏斗 稲垣建悟
- 高林怜音 福田光希 中喜多香奈 小田嶋大智
- 亀真志歩 越田幸之介 八尋紗良 清水亮大
- 大谷陽向 五條祐大 別紙南人 石井瑞希
- 栗本実佳 為井結子 岸本菜 吉川美南
- 益川あさひ 島崎直人 君和田珠々 吉川陽花
- 加藤つむぎ 伊藤有音 武田莉奈 熊谷音
- 柏陽菜 藤澤健太 鈴木理夏 高橋晴
- 松岡幸歩 堀場皓希 溝口花歩 赤井望乃佳
- 金杉輝 川合凛乃 村上由依 山口湊介
- 鈴木保乃華 遠藤覚悟 本村海美 福田侑奈
- 拜司じゅり 竹内福柱 寺西珠美 鈴木和奏
- 矢代英資 近藤奏太 小山達樹 大橋心
- 久保田紗介 関友哉 羽藤美夜 白尾朋義
- 新岡龍人 筒井真由 中辻実里 白尾和義
- 林夏歩 中西有作 宮田隼太郎 竹林晃汰
- 越智晴臣 小林明日香 小林未緒奏 舟橋美輝
- 深澤由彩 林風追 田上大晴 原田千愛
- 山崎まな 藤田圭吾 垣内一華 玉水葵
- 黒川真璃奈 佐藤美咲 滝本唯七 瀬沼健之介
- 倉持有彩 徳矢颯土 磯田希 宇田川初陽加
- 衛藤綾女 尾澤晃佑 後藤琥珀 内藤朔
- 北村美歌子 岡崎理紗 杉山藍夏 平沢美花
- 土屋亮登 栗本結生 渡辺紗菜 野村有彩
- 照沼康介 中道香 園田瑞 石塚大稀
- 三原龍斗 小田島杏澄 新見紗和子 馬場小楠
- 砂長董 阿部通希 小池凜 吉川風騎
- 前田彩花 高田幹久 吉田菜々美 青木幸芽
- 大沼文 長谷川葵 手賀哉汰 青木夏芽
- 山崎風葉 小栗悠登 黒澤佳純 中村悠乃
- 宮崎まひる 佐藤航太 西巻素衣 辻村葵唯
- 浅野瑛斗 山岸歩真 尾田竜之介 荒堀晴輝
- クスターク 飛愛 那須青 八嶋菜 白鳥愛奈
- 五十嵐梨夏 吉田智輝 伊藤寧音 大熊相生
- 木幡美空 菅野蒼天 小柳万紘 矢口エリナ
- 仁禮結人 渡邊快 片柳尚 桂木洗希
- 内藤咲 小畑篤史 厚東大晴 塩川ひなた
- 水尾光伽 長谷部友凜 土橋ひかり 沼田絆聖
- 小牧莉吏歩 石渡そら 山根真優 山賀美緒
- 早野香濃 石本奏海 安田咲 伊勢東吾
- ルンゴ 玄童 望月陽輝 野本圭吾 樽沼優歩
- 橋美莉愛 和田百々花 野本修吾 藤田菜都
- 日高緑太 小島大空 齋藤萌々果 松村悠希
- 太田龍人 木元悠希 新井莉紗 川原田晃介
- 坂本悠海 三宅愛理 川口翔平 矢萩凜太郎
- 水戸部祈里 石井拓真 細野由菜 安部美緒
- 鬼丸曉杜 佐藤治雅 高野心実 守山紫珠
- 阿部結月 中野虹花 森将尋 牧ちひろ
- 杉山晴信 小林亜人亜 小木曾碧羽 望月太智
- 高野晴大 太田海里 唐澤佑雅 志村勇氣
- 高木登梧 澤頭煌 高島輝一 田口航大
- 宮本新 基蓮太郎 永野靖子 佐々木友那
- 藤崎玲海 重松大揮 永野晴子 佐藤聖武
- 大須賀美咲 叶内美和 宮里蔽路 紺田遥香
- 青木理通 保積大樹 浅部天紀 小田切誠
- 松本瑛司 増田樹 黄地咲優子 中里恵梧
- 高橋千景 山内瑛介 石原栞梗 福井穂乃佳
- 樋口真愛 伊藤光希 齋藤優貴 松田彩理咲
- 山本和輝 芦田結恵 佐治琥一郎 山本紗瑛
- 菅原湊 今井杏美 井手大翔 村井楓
- 澤田賢和 出月健跳 米山秀義 加藤洵
- 志波惟逢 谷口湊 佐々木啓太 中村糸
- 加藤梨花 西澤健翔 橋駿太 青柳羽那花
- 川波瑚々音 高田笹蘭 小田美月 浅井志穂里
- 立石愛依 飯倉和貴 新明季々 久保田愛梨
- 谷川紘士 丸田彩愛 岡本咲優 鈴木はな
- 萩原玄太郎 渡邊仁菜 岡本咲優 田中大雅
- 勅使河原楓 神田理紗子 山根汐葵 渡邊有真
- 本村結人 安達諒真 山根一心 牛島龍之介
- 古波蔵恵大 櫻井結仁 ウイングズ 本田称風
- 大澤新 金子柚菜 大志 坂田莉菜
- 秋月柳太郎 宇佐美和果 青木紗良 大館あゆみ
- 佐藤藍来 平林太郎 松田みちる 佐倉悠斗
- 酒井智尋 富下寿乃 中村ののか 勝俣杏樹
- 細井源二郎 森陽向 北室優爾 大山与葉
- 岩井悠真 馬嶋祐大 今井優利 佐藤龍玖
- 稲葉拓生 春木良誠 藤本たまき 中村結心
- 勝田悠嗣 長嶋亮佑 橋本琥珀 市川結季
- 五十嵐遙 高橋恒成 山田悠翔 中川蒼太
- 豊田夏実 伊藤美和 山田遥己 小崎文馨
- 佐藤安美 安達来紀 田中輝輝 田沼峻人



ロビー：複層ロビーが広がっています
 魚の間：宴会式披露宴・結婚披露宴・集会用に利用下さい

御鎮座九五〇年記念事業として、去る7月16日に起工清祓式が執り行われ、結婚式場清涼殿の一階のロビー・階段のカーペット張替工事と「亀の間」他内装の改修列のもと竣工式を斎行し、9月1日よりリニューアルオープンにて営業致しております。どうぞ皆様のご利用をお待ちしております。

**御鎮座九五〇年記念事業
 清涼殿改修工事竣功**

**緑豊かな都心の杜で
 絆深める和婚式**

成 人 式
 卒 業 式

衣装・美容着付・写真・初宮饗膳(ご会食)など承ります。

清涼殿 03(3312)7515

御鎮座950年式年
平成25癸巳年 迎春

新年にはご祈禱(ご祈願)をお受けになり、清々しい一年に致しましょう

平成25癸巳年 元旦零時 神能「翁」・厄除開運大祈禱祭(一番祈禱)斎行



野村四郎氏による新春を寿ぐ神能「翁」



今年初めてのご祈願祭 宮司奉仕の一番祈禱



一番祈禱参列者に鈴振り神事

清々しい初日の出を迎え、多くの参詣者で賑わうご社頭



ご神前で誓いも新たに



今年一年の平安を祈る歳旦祭を斎行



立正佼成会 庭野会長らご参拝



新年のお守り・お札を拝受する



運氣が伸びるよう、ご神木横のみくじ掛けに



陸続と続く初詣者で溢れる表参道

大 宮 第95号
平成25年 新春号
 平成25年1月1日発行
大宮八幡宮社務所
 〒168-8570
 東京都杉並区大宮2-3-1
 電話 (3311)0105 FAX(3318)6100
 Mail : info@ohmiya-hachimangu.or.jp

新春の
代表的な授与品

さくらおまもり
幸桜勾玉御守

絆御守

かちまもり
勝御守

えんむすび守

交通安全守

しんしんけんぜん
心身健全守

かちまもり
勝運守

やくじゆ
厄除守

千支親子土鈴